

# 医療行動科学 9 : 605-6-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
6年次	前学期	6年次クラス担任主任

学修目標 (GIO) と 単位数	<p>・学修目標 (GIO) : 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。</p> <p>・単位数 : 1</p>
担当教員	平塚 浩一、*清水 武彦、*飯田 崇、*伊藤 誠康、*宇都宮 忠彦、*清水 邦彦、*高井 英樹、*村上 洋、*神谷 直孝、*伊藤 龍朗、*内堀 聡史、*梅澤 幸司、*神尾 直人、*五関 たけみ、*下坂 典立、*鈴木 正敏、*濱野 美緒、*瀧上 真奈、*村岡 宏隆、*山本 泰、*石井 智浩、*飯塚 普子、*五十嵐 憲太郎、*小出 恭代、*鈴木 亜沙子、*疋田 拓史
講義実施要項	<p>1) 実施場所 : 400教室</p> <p>2) 講義日時 : 8 : 40 ~ 12 : 30</p> <p>3) ポストテスト : 12 : 40 ~ (予定)</p> <p>4) 平常試験①~③ : MCQ形式 歯科医師国家試験の改変問またはオリジナル問題(36問)とする。 原則として平常試験の追試験は行わない。</p> <p>5) 総合試験 : MCQ形式の試験とする。 追再試験 : MCQ形式の試験とする。課題別講義追再試験と同日に実施する。</p>
評価方法 (EV)	ポストテスト(10%)、平常試験①②③(40%)、総合試験(50%)で算出した正答率が70%以上の者を医療行動科学9の合格者とする。合格基準に達しなかった者に対し再試験を行う。再試験の合格判定基準は正答率が70%以上とし、総合試験および平常試験結果を合格判定に加味できる。総合試験欠席者には追試験を実施することがある。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/04/01 (土) 1時限 08:40~09:30	メディカルプレゼンテーション (歯科麻酔学①)	<p>【授業の一般目標】 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯科麻酔学領域における臨床実地問題について、その臨床的な問題点を抽出できる。 3. 歯科麻酔学領域における臨床実地問題の検査結果および視覚素材について、適切な判断ができる。 4. 歯科麻酔学領域における臨床実地問題の問題点について、適切な処置方針を立案できる。 5. 歯科麻酔学領域における臨床実地問題について、出題者の意図を読み解くことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目 : 第116回歯科医師国家試験問題の歯科麻酔学領域臨床実地問題。 ・事前学修時間 : 30分。 ・事後学修項目 : 講義で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間 : 60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング : 無し。 学修媒体 : 配付資料。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 セ 歯科治療時の患者管理・麻酔管理 b 術中管理</p>	*下坂 典立
2023/04/01 (土) 2時限 09:40~10:30	メディカルプレゼンテーション (保存修復学領域①)	<p>【授業の一般目標】 歯科臨床で遭遇する多様な症例に適切に対応するために、直近の歯科医師国家試験における保存修復学領域臨床実地問題を参考として限られた情報から正答を導き出す思考過程を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」 2. 保存修復学領域臨床実地問題の主文内における主訴、症状、所見、検査結果を正しく解釈できる。</p>	*神谷 直孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/04/01 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(保存修復学領域①)	<p>3. 保存修復学領域臨床実地問題の視覚素材を臨床的に正しく解釈できる。 4. 保存修復学領域問題出題者の出題意図を読み解くことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：国家試験過去問題（保存修復領域） ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：講義内容周辺知識の再確認 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：パワーポイント、配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p>	*神谷 直孝
2023/04/01 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション(歯科矯正学①)	<p>【授業の一般目標】 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例について、検査結果を説明できる。 3. 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 4. 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験臨床実地問題歯科矯正学領域過去問を自学自習する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 学修媒体：配布プリント、PCによるスライド 参考資料：歯科矯正学第6版 医歯薬出版 新版 プロフィットの現代歯科矯正学 クイテッセンス出版 国家試験過去問題集</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 10 不正咬合の治療 ウ 永久歯列期の不正咬合の治療</p>	*疋田 拓史
2023/04/01 (土) 4時限 11:40～12:30	医療行動科学①-1 (有床義歯補綴学①)	<p>【授業の一般目標】 テーマ：特殊な設計を有する義歯の国家試験問題解説 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、主として全部床義歯の臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 特殊な設計を有する義歯の臨床症例において、その問題点を抽出できる 3. 特殊な設計を有する義歯の臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。 4. 特殊な設計を有する義歯の臨床症例において、分析結果の発表ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験臨床実地問題全部床義歯領域領域過去問を自学自習する。 関連問題：116A-59、116C-30、116D-27、116D-34、116D-82 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 学修媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p>	*小出 恭代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/04/01 (土) 4時限 11:40～12:30	医療行動科学①-1 (有床義歯補綴学①)	歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 7 特殊な装置による治療 ア 顎顔面補綴装置	*小出 恭代
2023/04/08 (土) 1時限 08:40～09:30	医療行動科学①-2 (口腔外科学)	<p>【授業の一般目標】 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3. 与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：第105-116回歯科医師国家試験臨床実地問題(口腔外科学領域)と令和4年度に行われた模試の臨床実地問題(口腔外科学領域)を解く。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義で習得した内容を踏まえ、歯科医師国家試験臨床実地問題に再度取り組む。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 講義、PCスライド、プリント 参考図書：医歯薬出版「口腔外科学 第4版」、医学書院「標準口腔外科学 第4版」 麻布デンタルアカデミー「歯科医師国家試験過去問題集 実践」、 第116回歯科医師国家試験臨床 実地問題</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 c 口腔癌</p>	*山本 泰
2023/04/08 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション (歯内療法学①)	<p>【授業の一般目標】 歯内療法領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 与えられた歯内療法領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3. 与えられた歯内療法領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた歯内療法領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目 106-115回 歯科医師国家試験 歯内分野 臨床実地問題 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布プリントを確認する。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：PC/講義資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p>	*神尾 直人
2023/04/08 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション (小児歯科学①)	<p>【授業の一般目標】 小児歯科領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 与えられた小児歯科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3. 与えられた小児歯科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた小児歯科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p>	*清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/04/08 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション(小児歯科学①)	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験臨床実地問題(小児歯科学領域)を解く。 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布プリント、スライド 参考図書：学健書院「小児の口腔科学」</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 エ 小児の歯の硬組織疾患 a 齲蝕</p>	*清水 武彦
2023/04/08 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション(放射線学)①	<p>【授業の一般目標】 放射線領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 与えられた放射線領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。 3. 与えられた放射線領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた放射線領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：5年次までに配布したプリント、過去の国家試験問題を見直しておくこと。 ・事前学修時間：40分 ・事後学修項目：授業時配布のプリントを見直し、過去の国家試験問題を復習しておくこと。 ・事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 講義・パワーポイント・プリント</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞</p>	*村岡 宏隆
2023/04/15 (土) 1時限 08:40～09:30	医療行動科学①-3(有床義歯補綴学②)	<p>【授業の一般目標】 テーマ：部分床義歯治療過程の国家試験問題解説 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、主として部分床義歯の臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 部分床義歯装着者の臨床症例において、その問題点を抽出できる。 3. 部分床義歯装着者の臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。 4. 部分床義歯装着者の臨床症例において、分析結果の発表ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験臨床実地問題部分床義歯領域領域過去問を自学自習する。 関連問題：116A-39、116B-22、116D-54、116D-60 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p>	*石井 智浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/04/15 (土) 1時限 08:40～09:30	医療行動科学①-3 (有床義歯補綴学②)	歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録	*石井 智浩
2023/04/15 (土) 2時限 09:40～10:30	医療行動科学①-3 (クラウンブリッジ補綴学①)	<p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 築造窩洞形成に使用する器材を説明できる。 3. 支台築造法の種類と使用する器材を説明できる。 4. 歯肉圧排の方法と使用する器材を説明できる。 5. 支台歯形成に必要な器材を説明できる。 6. 精密印象、咬合採得に使用する器材を説明できる。 7. プロビジョナルレストレーションの製作法と必要な器材を説明できる。 8. クラウン・ブリッジの試適、調整、仮着に必要な器材を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯冠補綴治療時に使用する器具や必要な材料 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯冠補綴治療時に使用する器具や必要な材料 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査・顎口腔機能検査 ア 口腔検査 e 歯列・咬合の検査 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療 d 歯の欠如・欠損の治療</p>	*内堀 聡史
2023/04/15 (土) 3時限 10:40～11:30	医療行動科学①-3 (口腔インプラント学)	<p>【授業の一般目標】 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔インプラント領域における国家試験問題の主文の解釈ができる。 3. 口腔インプラント領域における臨床実地問題の検査結果の解釈ができる。 4. 口腔インプラント領域における臨床実地問題の視覚素材に対する臨床的解釈ができる。 5. 口腔インプラント領域における問題の出題者の意図を読み解くことができる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：過去の国家試験問題口腔インプラント領域を解く。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：過去の国家試験問題口腔インプラント領域を解く。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ウ 臨床操作 c 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ウ 臨床操作 a インプラント体埋入手術 (一次手術)</p>	*村上 洋

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/04/15 (土) 3時限 10:40～11:30	医療行動学①-3 (口腔インプラント学)		*村上 洋
2023/04/15 (土) 4時限 11:40～12:30	医療行動科学①-3 (歯周治療学)	<p>【授業の一般目標】 歯周治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 与えられた歯周治療学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。 3. 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：115、116回歯科医師国家試験臨床実地問題歯周治療学領域を解く。 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業配布プリントを熟読する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：あり (問題の演習と学生による解説) 学修媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 e 歯周外科治療 (歯周組織再生療法)</p>	*高井 英樹
2023/04/22 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション (保存修復学領域②)	<p>【授業の一般目標】 歯科臨床で遭遇する多様な症例に適切に対応するために、直近の歯科医師国家試験における保存修復学領域臨床実地問題を参考として限られた情報から正答を導き出す思考過程を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」 2. 保存修復学領域臨床実地問題の本文内における主訴、症状、所見、検査結果を正しく解釈できる。 3. 保存修復学領域臨床実地問題の視覚素材を臨床的に正しく解釈できる。 4. 保存修復学領域問題出題者の出題意図を読み解くことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：国家試験過去問題 (保存修復領域) ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：講義内容周辺知識の再確認 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：パワーポイント、配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p>	*神谷 直孝
2023/04/22 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション (歯科麻酔学②)	<p>【授業の一般目標】 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯科麻酔学領域における臨床実地問題について、その臨床的な問題点を抽出できる。 3. 歯科麻酔学領域における臨床実地問題の検査結果および視覚素材について、適切に判断できる。 4. 歯科麻酔学領域における臨床実地問題の問題点について、適切な処置方針を立案することができる。 5. 歯科麻酔学領域における臨床実地問題について、出題者の意図を読み解くことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：第116回歯科医師国家試験問題の歯科麻酔学領域臨床実地問題。 ・事前学修時間：30分。</p>	*鈴木 正敏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/04/22 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(歯科麻酔学②)	<p>・事後学修項目：講義で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。</p> <p>学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 1 全身の症候 ウ 呼吸・循環器</p>	*鈴木 正敏
2023/04/22 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション(歯科矯正学②)	<p>【授業の一般目標】 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 矯正治療で使用する材料の特徴を説明できる。 3. 矯正治療で使用する器具について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：矯正治療の流れと使用する器具器材について ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：配布プリント、PCによるスライド 参考資料：歯科矯正学第6版 医歯薬出版 新版 プロフィットの現代歯科矯正学 クイテッセンス出版 国家試験過去問題集</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 10 不正咬合の治療 ウ 永久歯列期の不正咬合の治療</p>	*五関 たけみ
2023/04/22 (土) 4時限 11:40～12:30	医療行動科学②-1 (有床義歯補綴学③)	<p>【授業の一般目標】 テーマ：全部床義歯関連国家試験問題解説 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、主として全部床義歯についての臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 有床義歯装着者の臨床症例において、その問題点を抽出できる。 3. 有床義歯装着者の臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。 4. 有床義歯装着者の臨床症例において、分析結果の発表ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験臨床実地問題有床義歯関連領域過去問を自学自習する。 関連問題：116A-54、116B-38、116B-84、116C-74、116D-59 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得</p>	*鈴木 亜沙子
2023/05/01 (月) 1時限 09:00～10:15	平常試験①	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集など 準備学修時間：十分な準備学修時間をとる</p> <p>【学修方略（LS）】</p>	平塚 浩一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/05/01 (月) 1時限 09:00～10:15	平常試験①	その他  【場所(教室/実習室)】 400教室	平塚 浩一
2023/05/13 (土) 1時限 08:40～09:30	医療行動科学②-3 (有床義歯補綴学④)	<p>【授業の一般目標】 テーマ：義歯の構成要素に関する国家試験問題解説 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、主として義歯の構成要素についての臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 有床義歯装着者の臨床症例において、その問題点を抽出できる。 3. 有床義歯装着者の臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。 4. 有床義歯装着者の臨床症例において、分析結果の発表ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験臨床実地問題有床義歯関連領域過去問を自学自習する。                   関連問題：116A-61, 116B-70, 116C-46, 116D-63 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし・講義</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 b 義歯の構成要素</p>	*伊藤 誠康
2023/05/13 (土) 2時限 09:40～10:30	医療行動科学②-2 (クラウンブリッジ補綴学②)	<p>【授業の一般目標】 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の主文の解釈ができる。 3. クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の検査結果の解釈ができる。 4. クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の視覚素材に対する臨床的解釈ができる。 5. クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の出題者の意図を読み解くことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：114回歯科医師国家試験臨床実地問題クラウンブリッジ領域を解く。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業プリントの復習、不足項目の補充 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害</p>	*飯田 崇
2023/05/13 (土) 3時限 10:40～11:30	医療行動科学②-2 (クラウンブリッジ補綴学③)	<p>【授業の一般目標】 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の主文の解釈ができる。 3. クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の検査結果の解釈ができる。 4. クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の視覚素材に対する臨床的解釈ができる。 5. クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の出題者の意図を読み解くことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：114回歯科医師国家試験臨床実地問題クラウンブリッジ領域を解く。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業プリントの復習、不足項目の補充 事後学修時間：30分</p>	*飯田 崇



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/05/13 (土) 3時限 10:40～11:30	医療行動科学②-2 (クラウンブリッジ補綴学③)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害</p>	*飯田 崇
2023/05/13 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション（放射線学）②	<p>【授業の一般目標】 放射線領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 与えられた放射線領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。 3. 与えられた放射線領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた放射線領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：5年次までに配布したプリント、過去の国家試験問題を見直しておくこと。 ・事前学修時間：40分</p> <p>・事後学修項目：授業時配布のプリントを見直し、過去の国家試験問題を復習しておくこと。 ・事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 講義・パワーポイント・プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞</p>	*村岡 宏隆
2023/05/20 (土) 1時限 08:40～09:30	医療行動科学②-3 (口腔外科学)	<p>【授業の一般目標】 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3. 与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：第105-116回歯科医師国家試験臨床実地問題（口腔外科学領域）と令和3年度に行われた模試の臨床実地問題（口腔外科学領域）を解く。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義で習得した内容を踏まえ、歯科医師国家試験臨床実地問題に再度取り組む。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：PCスライド 参考図書：医歯薬出版「口腔外科学 第4版」、医学書院「標準口腔外科学 第4版」 麻布デンタルアカデミー「歯科医師国家試験過去問題集 実践」、 第116回歯科医師国家試験臨床実地問題</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療</p>	*山本 泰

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/05/20 (土) 1時限 08:40～09:30	医療行動科学②-3 (口腔外科学)	ア 先天異常と変形を主徴とする疾患の病態・診断・治療 b 口唇裂・口蓋裂	*山本 泰
2023/05/20 (土) 2時限 09:40～10:30	医療行動科学②-3 (歯周治療学)	<p>【授業の一般目標】 歯周治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 与えられた歯周治療学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。 3. 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：112、113、114回歯科医師国家試験臨床実地問題歯周治療学領域を解く。 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業配布プリントを熟読する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：あり (問題の演習と学生による解説) 学修媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 e 歯周外科治療 (歯周組織再生療法)</p>	*高井 英樹
2023/05/20 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション (小児歯科学②)	<p>【授業の一般目標】 小児歯科領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 与えられた小児歯科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3. 与えられた小児歯科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた小児歯科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験臨床実地問題 (小児歯科学領域) を解く。 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布プリント、スライド 参考図書：学健書院「小児の口腔科学」</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論I 成長・発育に関連した疾患・病態 2 歯の異常 ア 数の異常 a 過剰歯</p>	*清水 邦彦
2023/05/20 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション (歯内療法学②)	<p>【授業の一般目標】 歯内療法領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 与えられた歯内療法領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3. 与えられた歯内療法領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた歯内療法領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目 106-115回 歯科医師国家試験 歯内分野 臨床実地問題 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布プリントを確認する。</p>	*神尾 直人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/05/20 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション(歯内療法学②)	<p>・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 学修媒体 PC/講義資料</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 b 根尖性歯周疾患</p>	*神尾 直人
2023/05/22 (月) 1時限 09:00～10:15	平常試験②	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集など 準備学修時間：十分な準備学修時間をとる</p> <p>【学修方略(LS)】 その他</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p>	平塚 浩一
2023/05/27 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション(保存修復学領域③)	<p>【授業の一般目標】 歯科臨床で遭遇する多様な症例に適切に対応するために、直近の歯科医師国家試験における保存修復学領域臨床実地問題を参考として限られた情報から正答を導き出す思考過程を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」 2. 保存修復学領域臨床実地問題の主文内における主訴、症状、所見、検査結果を正しく解釈できる。 3. 保存修復学領域臨床実地問題の視覚素材を臨床的に正しく解釈できる。 4. 保存修復学領域問題出題者の出題意図を読み解くことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：国家試験過去問題(保存修復領域) ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：講義内容周辺知識の再確認 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：パワーポイント、配布資料</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p>	*神谷 直孝
2023/05/27 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(歯科麻酔学③)	<p>【授業の一般目標】 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯科麻酔学領域における臨床実地問題について、その臨床的な問題点を抽出できる。 3. 歯科麻酔学領域における臨床実地問題の検査結果および視覚素材について、適切な判断ができる。 4. 歯科麻酔学領域における臨床実地問題の問題点について、適切な処置方針を立案できる。 5. 歯科麻酔学領域における臨床実地問題について、出題者の意図を読み解くことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：第116回歯科医師国家試験問題の歯科麻酔学領域臨床実地問題。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：講義で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p>	*下坂 典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/05/27 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(歯科麻酔学③)	400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス 全身管理に留意すべき全身疾患・状態 b 循環器・脳血管疾患	*下坂 典立
2023/05/27 (土) 3時限 10:40～11:30	医療行動科学③-1(障害者歯科学)	【授業の一般目標】 障害者歯科学領域における研究マインド育成を図るために歯科医学情報の収集と分析を行う。 【行動目標(SBOs)】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.与えられた障害者歯科学領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。 3.障害者歯科学領域における臨床症例の問題点について、適切な治療方針を立案できる。 4.与えられた障害者歯科学領域における臨床症例の分析結果を理解できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:学習媒体を用いた項目を理解する。1)行動調整 2)歯科治療時に配慮すべき疾患・症候群 3)摂食嚥下障害 4)精神および行動の障害 ・準備学修時間:30分 ・事後学修項目:授業時配布資料を用いた内容確認と整理 ・事後学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無、第116回歯科医師国家試験問題の事前提示による反転授業 学修媒体:スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第2版(日本障害者歯科学会編集)、医歯薬出版(株)、2017。 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 1 治療の基礎 オ 障害者の治療	*梅澤 幸司
2023/05/27 (土) 4時限 11:40～12:30	医療行動科学③-1(有床義歯補綴学⑤)	【授業の一般目標】 テーマ:義歯の修理・義歯の設計と治療方針 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、主として義歯の修理・設計と治療方針についての臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.有床義歯装着者の臨床症例において、その問題点を抽出できる。 3.有床義歯装着者の臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。 4.有床義歯装着者の臨床症例において、分析結果の発表ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目:歯科医師国家試験臨床実地問題有床義歯関連領域過去問を自学自習する。 関連問題:116A-37, 116A-88, 116A-89, 116B-28, 116B-76, 116C-57 事前学修時間:60分 事後学修項目:授業時配布資料を用いた内容確認と整理 事後学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし・講義 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 エ 治療計画の立案	*五十嵐 憲太郎
2023/06/03 (土) 1時限 08:40～09:30	医療行動科学③-2(口腔外科学)	【授業の一般目標】 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2.与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3.与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4.与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。	*濱野 美緒

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/06/03 (土) 1時限 08:40～09:30	医療行動科学③-2 (口腔外科学)	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験臨床実地問題（口腔外科学領域）と模試の臨床実地問題（口腔外科領域）を解く。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義で習得した内容を踏まえ、歯科医師国家試験臨床実地問題に再度取り組む。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：授業スライド 参考図書：医学書院「標準口腔外科学 第4版」、医歯薬出版「口腔外科学 第3版」、学建書院「口腔外科学 第5版」、「サクシント口腔外科学 第3版」、麻布デンタルアカデミー「歯科医師国家試験過去問題集 実践」</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞</p>	*濱野 美緒
2023/06/03 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション（歯内療法学③）	<p>【授業の一般目標】 歯内療法領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 与えられた歯内療法領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3. 与えられた歯内療法領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた歯内療法領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目 106-115回 歯科医師国家試験 歯内分野 臨床実地問題 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布プリントを確認する。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 学修媒体 PC/講義資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 b 根尖性歯周疾患</p>	*神尾 直人
2023/06/03 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション（小児歯科学③）	<p>【授業の一般目標】 小児歯科領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 与えられた小児歯科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3. 与えられた小児歯科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた小児歯科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験臨床実地問題（小児歯科学領域）を解く。 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布プリント、スライド 参考図書：学建書院「小児の口腔科学」</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p>	*伊藤 龍朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/06/03 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション(小児歯科学③)	【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論I 成長・発育に関連した疾患・病態 3 口腔・顎顔面の疾患 ア 歯の疾患 a 異所萌出	*伊藤 龍朗
2023/06/03 (土) 4時限 11:40～12:30	医療行動科学③-2 (臨床検査医学・病理学)	【授業の一般目標】 臨床検査・病理診断領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。  【行動目標(SBOs)】 1.以下の行動目標とその教授内容は臨床経験に基づいている。 2.与えられた臨床検査領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。 3.与えられた臨床検査領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4.与えられた病理診断領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。 5.与えられた病理診断領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目:5年次までに配布したプリント、ノートや実習書を見直しておくこと。 ・事前学修時間:30分 ・事後学修項目:授業時配布のプリントを見直し、類似した国家試験問題を復習しておくこと。 ・事後学修時間:1時間  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無:無し 400教室、マルチメディア  【学修方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 エ 検体検査の種類 a 一般臨床検査  【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 ウ 基準値と結果の解釈 a 基準範囲の概念 b 生理的変動、異常値と原因 c 性差、年齢差 d 症候、病歴(既往歴・薬物)との関連 エ 検体検査の種類 b 血液学検査 c 生化学検査 d 免疫血清学検査 e 微生物学検査 キ 病理学検査 a 細胞診 b 組織診	*淵上 真奈 *宇都宮 忠彦
2023/06/10 (土) 1時限 08:40～09:30	医療行動科学③-3 (口腔外科学)	【授業の一般目標】 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。  【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験とに基づき以下の内容を教授する 2.与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3.与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4.与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目:歯科医師国家試験臨床実地問題(口腔外科学領域)と模試の臨床実地問題(口腔外科領域)を解く。 事前学修時間:60分 事後学修項目:講義で習得した内容を踏まえ、歯科医師国家試験臨床実地問題に再度取り組む。 事後学修時間:60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無し 学修媒体:授業スライド 参考図書:医学書院「標準口腔外科学 第4版」、医歯薬出版「口腔外科学 第3版」、学建書院「口腔外科学 第5版」、「サクシント口腔外科学 第3版」、麻布デンタルアカデミー「歯科医師国家試験過去問題集 実践」  【学修方略(LS)】	*濱野 美緒

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/06/10 (土) 1時限 08:40～09:30	医療行動科学③-3 (口腔外科学)	講義  【場所(教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯原性良性腫瘍	*濱野 美緒
2023/06/10 (土) 2時限 09:40～10:30	医療行動科学③-3 (クラウンブリッジ補綴学④)	【授業の一般目標】 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。  【行動目標(SBOs)】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の主文の解釈ができる。 3.クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の検査結果の解釈ができる。 4.クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の視覚素材に対する臨床的解釈ができる。 5.クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の出題者の意図を読み解くことができる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験臨床実地問題クラウンブリッジ領域を解く。 事前学習時間：30分 事後学修項目：授業プリントの復習、不足項目の補充 事後学習時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：授業プリント、PCでの解説  【学修方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 d 歯の欠如・欠損の治療	*内堀 聡史
2023/06/10 (土) 3時限 10:40～11:30	医療行動科学③-3 (口腔インプラント学)	【授業の一般目標】 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。  【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔インプラント領域における国家試験問題の主文の解釈ができる。 3.口腔インプラント領域における臨床実地問題の検査結果の解釈ができる。 4.口腔インプラント領域における臨床実地問題の視覚素材に対する臨床的解釈ができる。 5.口腔インプラント領域における問題の出題者の意図を読み解くことができる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：過去の国家試験問題口腔インプラント領域を解く。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：過去の国家試験問題口腔インプラント領域を解く。 ・事後学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：授業プリント、PCでの解説  【学修方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ウ 臨床操作 g 装着  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 エ 上部構造の製作 b スクリュー固定式上部構造の製作	*村上 洋

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/06/10 (土) 3時限 10:40～11:30	医療行動学③-3 (口腔インプラント学)		*村上 洋
2023/06/10 (土) 4時限 11:40～12:30	医療行動科学③-3 (歯周治療学)	<p>【授業の一般目標】 歯周治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 与えられた歯周治療学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。 3. 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：110、111回歯科医師国家試験臨床実地問題歯周治療学領域を解く。 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業配布プリントを熟読する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：あり（問題の演習と学生による解説） 学修媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 e 歯周外科治療 (歯周組織再生療法)</p>	*高井 英樹
2023/06/17 (土) 1時限 09:00～10:15	平常試験③	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集、など 準備学修時間：十分な準備学修時間をとる</p> <p>【学修方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p>	平塚 浩一
2023/06/21 (水) 1時限 09:00～10:20	総合試験	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集など 準備学修時間：十分な準備学修時間をとる</p> <p>【学修方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p>	平塚 浩一
2023/06/26 (月) 1時限 11:00～12:20	追再試験	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集など 準備学修時間：十分な準備学修時間をとる</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p>	平塚 浩一